

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名	株式会社 久世	上場取引所	東
コード番号	2708	URL	https://www.kuze.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)久世 真也	
問合せ先責任者	(役職名)常務取締役 経営サポート本部長	(氏名)加藤 広忠	(TEL)03(3987)0018
四半期報告書提出予定日	2019年11月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,184	2.3	△52	—	27	△63.1	42	△41.6
2019年3月期第2四半期	32,455	4.5	8	△82.9	75	△34.3	72	△29.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 176百万円 (179.6%) 2019年3月期第2四半期 62百万円 (△87.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	11 48	—
2019年3月期第2四半期	19 65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,073	6,225	29.5
2019年3月期	22,564	6,165	27.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,225百万円 2019年3月期 6,135百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0 00	—	12 00	12 00
2020年3月期	—	0 00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12 00	12 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,500	5.3	300	34.2	400	7.4	250	19.2	67 54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	3,882,500株	2019年3月期	3,882,500株
2020年3月期2Q	181,118株	2019年3月期	181,118株
2020年3月期2Q	3,701,382株	2019年3月期2Q	3,701,427株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する安定的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、一部の消費に弱さは見られたものの、企業業績や雇用環境の改善により、引き続き緩やかな景気の拡大が継続しました。しかしながら、台風等の天候不順や、日韓関係の悪化による韓国人観光客の減少、米中貿易摩擦の長期化などにより、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましては、消費税増税を前にメニュー変更や価格改定が進む一方で、原料価格の高騰や、人手不足による人件費の上昇などにより依然として厳しい状況となっております。

このような状況のもと、安定的な収益基盤の構築を最優先課題とし、中期経営計画「第4次3ヶ年中期経営計画」を定め、新規得意先の開拓及び既存得意先との関係強化に取り組むとともに、物流の環境変化に対応すべく物流費の変動費化や効率化に努め、引き続き事業ミッションに「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度No.1」の具体化に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は331億84百万円（前年同期比2.3%増）、営業損失は52百万円（前年同期は8百万円の営業利益）、経常利益は27百万円（前年同期比63.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42百万円（前年同期比41.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、新規得意先の開拓による営業基盤の拡大と既存得意先との取引深耕に努めるとともに、取引条件の見直しや高付加価値商品及びサービスの提案を積極的に行ってまいりました。更に経営課題である物流改善については、センター業務の効率化や商品集約による在庫の適正化及び物流の変動費化、配送ルートの再編などに取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は309億56百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益（営業利益）は2億77百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。引き続きキスコフーズ商品の販売強化と新商品の開発、生産性の向上による効率化を鋭意進めてまいりました。

このような結果、売上高は22億41百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益（営業利益）は1億52百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は70百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益（営業利益）は49百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億91百万円減少し、210億73百万円となりました。これは主として商品及び製品が2億15百万円、投資有価証券が3億17百万円増加し、現金及び預金が13億93百万円、受取手形及び売掛金が7億26百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ15億52百万円減少し、148億47百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が8億5百万円、未払金が2億91百万円、長期借入金が3億91百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ60百万円増加し、62億25百万円となりました。これは主として資本剰余金が37百万円、為替換算調整勘定が73百万円減少し、その他有価証券評価差額金が2億5百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は29.5%（前連結会計年度末27.2%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して14億8百万円減少し、31億34百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、前年同四半期と比較して20億82百万円減少し、4億69百万円の支出となりました。これは売上債権の減少額が7億17百万円、たな卸資産の増加額が2億36百万円、仕入債務の減少額が7億92百万円であったことが主たる要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、前年同四半期と比較して94百万円増加し、2億90百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出が1億66百万円、無形固定資産の取得による支出が92百万円であったことが主たる要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、前年同四半期と比較して2億67百万円増加し、6億36百万円の支出となりました。これは長期借入れによる収入が1億50百万円、長期借入金の返済による支出が6億59百万円であったことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,097	3,704
受取手形及び売掛金	7,679	6,952
商品及び製品	2,334	2,549
原材料及び貯蔵品	248	256
その他	661	645
貸倒引当金	△61	△52
流動資産合計	15,961	14,055
固定資産		
有形固定資産	2,411	2,422
無形固定資産	434	476
投資その他の資産		
投資有価証券	2,295	2,612
その他	1,574	1,629
貸倒引当金	△111	△124
投資その他の資産合計	3,758	4,118
固定資産合計	6,603	7,017
資産合計	22,564	21,073
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,903	10,097
1年内返済予定の長期借入金	1,257	1,140
未払金	1,341	1,049
未払法人税等	126	55
賞与引当金	242	278
その他	395	346
流動負債合計	14,267	12,967
固定負債		
長期借入金	1,278	886
役員退職慰労引当金	205	185
退職給付に係る負債	233	238
資産除去債務	84	85
その他	329	484
固定負債合計	2,132	1,879
負債合計	16,399	14,847

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	291	253
利益剰余金	4,784	4,782
自己株式	△151	△151
株主資本合計	5,227	5,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	905	1,110
繰延ヘッジ損益	4	1
為替換算調整勘定	10	△63
退職給付に係る調整累計額	△11	△9
その他の包括利益累計額合計	908	1,038
非支配株主持分	29	—
純資産合計	6,165	6,225
負債純資産合計	22,564	21,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	32,455	33,184
売上原価	26,121	26,494
売上総利益	6,333	6,690
販売費及び一般管理費	6,325	6,742
営業利益又は営業損失(△)	8	△52
営業外収益		
受取事務手数料	33	43
受取配当金	24	27
物流業務受託収入	19	19
その他	38	45
営業外収益合計	116	136
営業外費用		
物流業務受託収入原価	29	29
その他	20	26
営業外費用合計	49	56
経常利益	75	27
特別利益		
投資有価証券売却益	—	54
固定資産売却益	54	—
特別利益合計	54	54
特別損失		
固定資産除却損	3	0
減損損失	0	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	125	82
法人税、住民税及び事業税	62	35
法人税等調整額	△14	1
法人税等合計	48	36
四半期純利益	77	45
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	72	42



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	77	45
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	205
繰延ヘッジ損益	2	△2
為替換算調整勘定	△23	△73
退職給付に係る調整額	4	1
その他の包括利益合計	△14	130
四半期包括利益	62	176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64	174
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	125	82
減価償却費	116	129
のれん償却額	21	21
減損損失	0	—
固定資産除却損	3	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△54
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	41	36
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	8
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8	△20
受取利息及び受取配当金	△26	△29
支払利息	5	5
固定資産売却損益 (△は益)	△54	—
売上債権の増減額 (△は増加)	366	717
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△79	△236
その他の資産の増減額 (△は増加)	35	△5
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,000	△792
その他の負債の増減額 (△は減少)	69	△253
小計	1,644	△386
利息及び配当金の受取額	24	27
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△55	△104
法人税等の還付額	6	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,613	△469
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15	△15
有形固定資産の取得による支出	△208	△166
有形固定資産の売却による収入	113	—
無形固定資産の取得による支出	△43	△92
投資有価証券の取得による支出	△4	△36
投資有価証券の売却による収入	—	66
その他	△37	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195	△290
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300	150
長期借入金の返済による支出	△601	△659
リース債務の返済による支出	△24	△11
配当金の支払額	△43	△43
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368	△636
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,044	△1,408
現金及び現金同等物の期首残高	4,495	4,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,539	3,134

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	30,367	2,081	6	32,455
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	—	67	80
計	30,380	2,081	73	32,535
セグメント利益	319	116	55	491

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	491
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△486
四半期連結損益計算書の営業利益	8

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	30,940	2,241	2	33,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	—	68	84
計	30,956	2,241	70	33,269
セグメント利益	277	152	49	479

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	479
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△536
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△52

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。